

第11回 Zoom でお話会のお誘い

授業の他にも行事が多い2学期も半ばを過ぎ、お疲れも溜まっているころと思います。そんな中、今回も怪しい時間ですが、Zoomでお話会を開催します。日ごろの悩みや愚痴などを出し合い、気持ちを楽にしませんか。

日時 2022年 11月 18日 (金) 20時30分～ 1時間半くらい

内容 その後、調理実習・実験 どうしてしていますか？

食生活学習の内容と実験や実習の位置づけについて考えてみましょう。

全部参加できなくても、ちょっとのぞいて見るだけでもOK!



■前回(9月30日)のようす■

奈良の学生さん 3 人を含む 11 人の参加がありました。文化祭、運動会、部活公式戦などをこなしながら、疲労マックスの中でもご参加くださった皆さま、ありがとうございました。「観点別評価や定期テストどうしてしていますか？」のテーマで、特に「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」はどうやってつけているか、5 段階の評定はどのように出しているかなどを話し合いました。

- ・3 観点のそれぞれ A を 3 点、B を 2 点、C を 1 点として評定を出している。思考・判断・表現や主体的な態度の評定は、自分の主観にならないようにすることが難しい。
- ・生徒一人一人の評定にコメントを付けている。3 観点は 1:1:1 に近くなるように、知技 40: 思判表 30: 主体的 30 で評定にしている。国研のように、学習過程に沿って思考・判断・表現を付けるには、授業時間が足りない。
- ・思考・判断・表現はレポートでつけている。テストの時に、これまでの授業で分かったことや疑問などを書かせて、主体的な態度に入れている。
- ・評定の 5、4 の割合には、チェックが入る。ふり返しシートに授業の振り返り(今日学んだこと、分かったこと)と、これからのことや疑問点を書くようにしている。評価で生徒を縛ることにならないように気をつけている。
- ・評価・評定に時間がとられ、悩みも多いが、その分を教材研究に回したい。教師も一人の市民、家庭人としての生活が必要。他にも、文化祭の有無や、部活の公式戦は土日か平日か、運動会の時間や生徒席のテントの有無など…過酷な現場で働く同士、話がつきませんでした。この会のいいところだと感じました。

■次回のよとい■

さて、次回は上記のように、調理実習や実験について取り上げます。コロナ禍で制約が多い中、食生活の学習内容全体と実習実験の教材をどうするかなど一緒に考えていきましょう。是非、ご参加くださいー。

素朴な質問、聞きたいこと、何でもOK! 意見を聞きたい教材などがあれば、お手元にご用意ください。[なくても大丈夫!] このお知らせは夏季研究集会中学校分科会や過去のお話会に参加してくださった方にお送りしていますが、他の方々にも紹介してください🍁

参加できる方は、**当日の19時までに**、下のフォームか QR コードからどうぞ!!



<https://forms.gle/xSSzbN8K2oVLCoh89>

ホントに気楽な会です。でも勉強になるからー **ご参加、お待ちしております!**

